

## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) リンテックス株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 7 1 2 - 8 0 0 6 岡山県倉敷市連島町鶴新田 2 6 7 0 番地	
本票作成	部署名：生産技術グループ				
主たる業種	分類コード	31	業種名：輸送用機械器具製造業		
事業の概要	当社は、自動車用車輪・農業機械用車輪・産業車両用車輪の生産を行っており、製造拠点は、岡山工場と群馬工場の二箇所及び営業本部が東京にある。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社・岡山工場		岡山県倉敷市連島町鶴新田 2 6 7 0 番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数                      1                      所                      ●車両台数 (②該当の場合)                      台)				
温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 27 )年度排出量		目標年度(平成 31 年度)	
	8,630 t CO <sub>2</sub>	8,625 t CO <sub>2</sub>		8,216 t CO <sub>2</sub>	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(平成 27 )年度排出量	
	①	本社・岡山工場		8,625 t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
削減目標の達成状況	計画期間：                      平成 27 年度                      ～                      平成 31 年度                      (                      5 箇年度)				
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 27 ) 年度削減実績		目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	7.8 %		4.8 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量		原単位当たり排出量		
			基準年度	( 27 ) 年度	目標年度
			2.031 kg CO <sub>2</sub> /(千個)	1.872 kgCO <sub>2</sub> /(千個)	1.934 kgCO <sub>2</sub> /(千個)
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 27 年度)	達成率等	
【削減状況の自己評価】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントレビュー会議において、取り組み内容の実績報告を実施(2回/年)</li> <li>・経営トップ直轄によるコスト1%削減活動の報告及びフォローを実施(1回/年)</li> <li>・昼夜勤におけるライン停止時の冷却水ポンプの停止及びコンプレッサ、照明、空調機の運転の管理を行った。</li> <li>・空圧機器エア漏れについての対応を実施。</li> <li>・生産数の増加に伴い、生産計画においても効率的な生産活動ができたと思われる。</li> <li>・LED照明や高効率電動機の導入も順次進めている。</li> </ul>					

**【推進体制】**

ISO14001に基づいた環境マネジメント活動プログラムにより電気・燃料の削減を目標に環境改善を推進した。  
また、コスト1%削減活動における生産性向上・不良率削減を推進した。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
本社・岡山工場	(27年度実施分) ①昼夜勤での昼休憩時間帯・ライン終業後における冷却水ポンプの停止による電力使用の削減を実施。 ②コスト1%削減活動により不良率の低減、故障時間の低減、空圧機器エア漏れ箇所の早期発見・修理を行った。  (今後実施予定分) ①27年度実施分を継続。 ②無駄な電気の使用を防ぐ取り組みを全社を挙げて行う。 ③高効率電動機を順次導入。 ④LED照明等省電力機器を順次導入。 ⑤冷却水ポンプのインバータ化。 ⑥コンプレッサ台数制御の適正化。 ⑦蒸気配管への保温材取り付け。

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

工場設立以来32年経過した。  
納入先からの新たな品質要求や製品の大型化が進み、工場設備が電力を消費する方向へ向かわざるを得ない中、より一層の省エネが必要であり、来年度以降、省エネ機器への更新ができるよう予算取りを進めたい。